

# 「観光交流施設の整備に」市民から2億円の寄附 枚方市の観光振興を願って…

◎写真あり

枚方市は、市内東香里在住の大東清四氏（91 歳）から、「旧療育園跡地で検討している観光交流施設の整備にかかる経費に活用していただきたい」と現金 2 億円の寄附を受けた。

旧療育園跡地（三矢町 4-10）は枚方市駅近くの京街道沿いにあり、敷地面積は約 700 m<sup>2</sup>ある。平成 31 年 3 月まで幼児療育園として運営していたが今は稼働していない。

市では、寄附者の意向を尊重し、取り組みを進める。

## ★寄附者の概要

【寄附者】	大東 清四（おおひがし・きよし）氏（91 歳）
【寄附の目的】	本寄附金を旧療育園跡地で検討している観光交流施設の整備にかかる経費に活用していただきたい。
【寄附金額】	2 億円
【收受日】	令和 2 年 11 月 12 日（木）
【過去の寄附】	平成 29 年 9 月、市は 1 億円の寄付を受け、「枚方市大東清四美術品管理基金」を市条例で設置。併せて美術工芸品等・約 100 点についても寄附を受けました。

★今後の取り扱い 寄附金の取り扱いについては、寄附者の意向を尊重し、取り組みを進める。

★経緯 枚方宿地区にあった幼児療育園の移転に伴い、市では跡地の活用について地域の要望等もふまえて観光交流施設として活用する方向で検討し、財源確保策や建て替えについても検討を進めてきた。

★場所 枚方宿地区の中心に位置する同土地は、江戸時代に参勤交代をする大名等が泊まった脇本陣があった場所であり、道路向かいの三矢公園は本陣跡という歴史的な由緒ある場所。

住所：枚方市三矢町 4-10（敷地面積約 700 m<sup>2</sup>）

※枚方宿

江戸時代初期に、幕府が東海道の延長として京街道に枚方宿を設置した。

枚方宿は、東西の長さ約 1.5km、道幅約 4.5m あり、紀州徳川家も常宿とし本陣や旅籠、茶屋など 400 軒近くが軒を並べていた。

## ★大東氏コメント

私は、常々、縁の深い枚方市の発展に貢献したいと思ってきましたが、今回の寄付金は、市が検討されている同観光交流施設の整備に活用していただき、地域・関係団体の方々や広く市民の皆様に喜んでいただける施設として、できるだけ早期の完成を目指し、枚方宿地区の活性化と賑わいの創出につなげていただくことを願っています。

今回の寄付金については、妻・千代子の一周忌の祥月命日に、私が出資・設立した「一般財団法人 千清文化教育財団」を通して、枚方市に寄付することといたします。

## ★市長コメント

大東様におかれましては、本市の観光振興に寄与したいという思いから、多額の寄附金をいただき心より感謝を申し上げます。枚方宿地区のかつての賑わいを取り戻し、ひいては、枚方市の観光施策を推進するうえで、大変大きな一助となります。

本市といたしましては、寄附者の思いをしっかりと受け止め、いただきました寄附金を大切に活用させていただきます。

＜お問い合わせ＞ 観光にぎわい部 観光交流課 ☎072・841・1357

## ▼大東清四氏に感謝状を手渡す伏見市長

